

第2節 地域別の国際化の基本方向

1 北部地域

(1) 地域の概要と整備方向

ア 概要

京都府の北部地域は、日本三景の一つ天橋立に代表される風光明媚な自然環境に恵まれた地域であるとともに、舞鶴市、福知山市、綾部市、宮津市など特色ある地方中核都市を持つ地域です。近年、近畿自動車道牧賀線や舞鶴港、綾部工業団地の整備など地域経済の活性化に向けた取組みが進みつつあります。

イ 整備方向

地域のポテンシャルを高めるため、京都府を南北に結ぶ京都縦貫自動車道の整備やJR山陰本線、KTR宮津線・宮福線の高速度の推進など、交通ネットワークの整備が重点的な課題となっています。

また、舞鶴市、福知山市、綾部市、宮津市などにおいては、日本海側の貿易拠点としての舞鶴港の整備をはじめ、経済・生活・文化・情報など各種高次都市機能の集積を促す北近畿高次機能集積ゾーン整備構想に基づき、北近畿の中核としてふさわしい都市圏の形成が図られようとしています。

更に、丹後地域については、美しい海や高原をはじめとする豊かな自然と歴史、地域の産業資源等を活かした、四季型・ネットワーク型のリゾート整備が進んでいます。

(2) 国際化の特性と基本方向

ア 特性

環日本海時代に向けて、その拠点となる舞鶴港の整備・活用が進められるとともに、中国、ロシア、韓国等との国際的な学術交流や各種の文化・スポーツ交流が展開されています。また、丹後地域では海外のリゾート地域との交流や国際音楽祭など地域の活性化に関連した取組みも進められています。

なお、北部地域の外国人登録者数は、3,667人（1993年12月現在）で京都府全体の6.4%となっています。

イ 国際化の基本方向

舞鶴港については、港湾機能の高度化を一層推進するとともに、輸入促進地域（FAZ）の整備や積極的なポートセールスを進め、環日本海交流の拠点としての総合的な整備を図ります。

舞鶴市、福知山市、綾部市、宮津市などについては、北近畿における環日本海交流の拠点的な都市圏として、国際活動にかかわる団体等の育成を図りつつ、各種の都市施設の整備・充実や外国人にも親しみやすい都市環境の整備を促進していきます。

丹後地域など自然環境に恵まれた地域については、環境の保全に留意しながら、外国人も安心して快適に滞在し、交流することのできるリゾートづくりを推進していきます。また、京都市内に多く居住する留学生・研究者や京都府への来訪者等が、この地域の自然と文化に親しむことができるよう、積極的な情報提供や各種の国際的なイベントの開催などを促進していきます。

更に、この地域に蓄積されている農林水産技術等を活用して研修生の受入れを行うなど、国際協力の取組みを進めていきます。

(1) 地域の概要と整備方向

ア 概要

京都市近郊部に位置する中部地域は、豊かな自然環境と魅力的な農山村環境を持ち、京都府内でも農林業の盛んな地域となっています。

また、亀岡盆地を中心とする地域は、近年JR山陰本線の電化や京都縦貫自動車道の整備などにより開発ポテンシャルが上昇して、住宅開発や学園立地等が進み、将来的には、京都縦貫自動車道沿線地域の一体的な発展が期待されるとともに、距離的に近接する阪神地域との連携が強まるものと予想されます。

一方、周辺の山間地域では、緑豊かな自然や人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動に対応した農村型リゾートの展開もみられます。

イ 整備方向

豊かな自然環境や歴史、文化など地域資源の積極的な活用と適切な保全を図りつつ、京都市及び阪神大都市圏に近接する立地条件を活かして、京都中部地域整備構想に基づき、「環境文化都市エリア」として自立的で魅力的な地域の形成がめざされています。

このため、広大な地域と多様な地理的・社会的条件を持っていることから、高次な都市機能の集積を図る「複合中軸都市ゾーン」、自然的・田園的環境の中で産業などの複合的機能を備えた「高原都市ゾーン」、豊かな自然環境を活かした交流・レクリエーション拠点としての「自然文化生活ゾーン」という三つのゾーン区分に基づく整備が進められようとしています。

(2) 国際化の特性と基本方向

ア 特性

姉妹都市との交流や国際学園都市をテーマとしたまちづくり、市町村の国際交流団体による国際協力活動や交流事業などが積極的に行われています。

また、山間地域では豊かな自然環境のもとで、カントリーライフを指向する国内外からの芸術家が居住して音楽会や展覧会が開催されるなど、ユニークな国際文化交流活動も展開されています。

なお、中部地域の外国人登録者数は、1,843人（1993年12月現在）で京都府全体の3.2%となっています。

イ 国際化の基本方向

中部地域の都市軸を形成する亀岡市や園部町等においては、大学や専門学校、工芸産業団地等の立地促進を図りつつ、海外の留学生や研修生などを受け入れ、国際的な教育・文化や産業技術・デザイン等の交流を促進していきます。

また、山間地域については、豊かな自然環境の中で国内外の芸術家が活動し、交流できる文化・生活ゾーンとして、国際的な芸術・文化交流を進めるとともに、グリーンツーリズムに対応した地域づくりを推進していきます。

更に、地域内に立地する農林業関係の試験研究機関等と連携して、海外からの研究者や研修生の受け入れを行うなど、国際協力の取組みを進めていきます。

3 南部地域 (京都・乙訓地区)

(1) 地域の概要と整備方向

ア 概要

長岡京及び平安京の建都以来、わが国の歴史、文化の中心として発展してきた地域であり、現在でも京都府内の経済、文化の中核として、人口約160万人を擁する大都市域を形成し、わが国を代表する国際交流拠点の一つになっています。

特に、長い歴史の中で蓄積された歴史的・文化的遺産を擁し、国際的な観光拠点として年間約4千万人の人々が国内外から訪れるとともに、多数の大学・研究機関が立地し、多くのノーベル賞受賞者を生んだ学術・研究の拠点としても大きな役割を果たしています。

更に、西陣織をはじめとする伝統産業とともに、世界的規模で展開する先端技術産業が集積する地域でもあります。

イ 整備方向

千年有余の歴史に育まれた文化・学術の国際都市域であることから、人類共有の資産としてこの地域を継承・創生していくとともに、世界都市にふさわしい新しい機能を備えた都市圏を形成していくための基盤整備が必要となっています。

このため、世界につながる関西国際空港へのアクセスや府内の各地域と京都市及び近畿圏とを結ぶ高速交通ネットワークの強化を図りつつ、産業、情報、文化、学術・研究、国際交流などの都市活動を支える基盤の充実を図るとともに、歴史や文化と調和した都市環境の創出、安全で快適な都市居住環境の整備がめざされています。

また、京都市の南側をU字形に囲むゾーンでは、京都都市圏の一翼を担い、商業・業務など新しい機能を持つ京都半環状都市ゾーンの形成がめざされています。

(2) 国際化の特性と基本方向

ア 特性

わが国を代表する国際的な文化・観光拠点であり、また大学・研究機関や外国文化センターの集積が高いことから、毎年多くの観光客や留学生を受け入れ、また、大学を中心とした学術交流をはじめ、経済界や文化団体、市民団体等を中心とする経済・文化・芸術交流などが活発に展開されており、京都府における国際化の中核的役割を果たすとともに、わが国を代表する国際的な交流拠点としての機能を果たしていくことが期待されています。

なお、この地域の外国人登録者数は、45,655人（1993年12月現在）で京都府全体の79.1%となっています。

イ 国際化の基本方向

多数存在する機関や団体、施設等を積極的に活用して海外とネットワークを結び、京都文化の世界への発信と海外文化の受信機能を高め、新しい文化や産業を創出する世界の文化センターとして、京都市をはじめとする市町村との連携と役割分担を図りつつ、各種の国際交流関連事業を進めていきます。

また、京都駅ビルや京都迎賓館、A C C D（アジア）国際デザイン研究センター（仮称）など文化・情報・交流の拠点施設の整備を促進し、国際化の機能を高めていきます。更に、外国籍府民や京都への来訪者が安心して快適に暮らし、滞在できるよう、外国人にもわかりやすい都市の案内表示や医療、教育などの体制整備を図っていくとともに、府民の国際理解を深め、異なる文化と共生する地球市民意識を育てていきます。